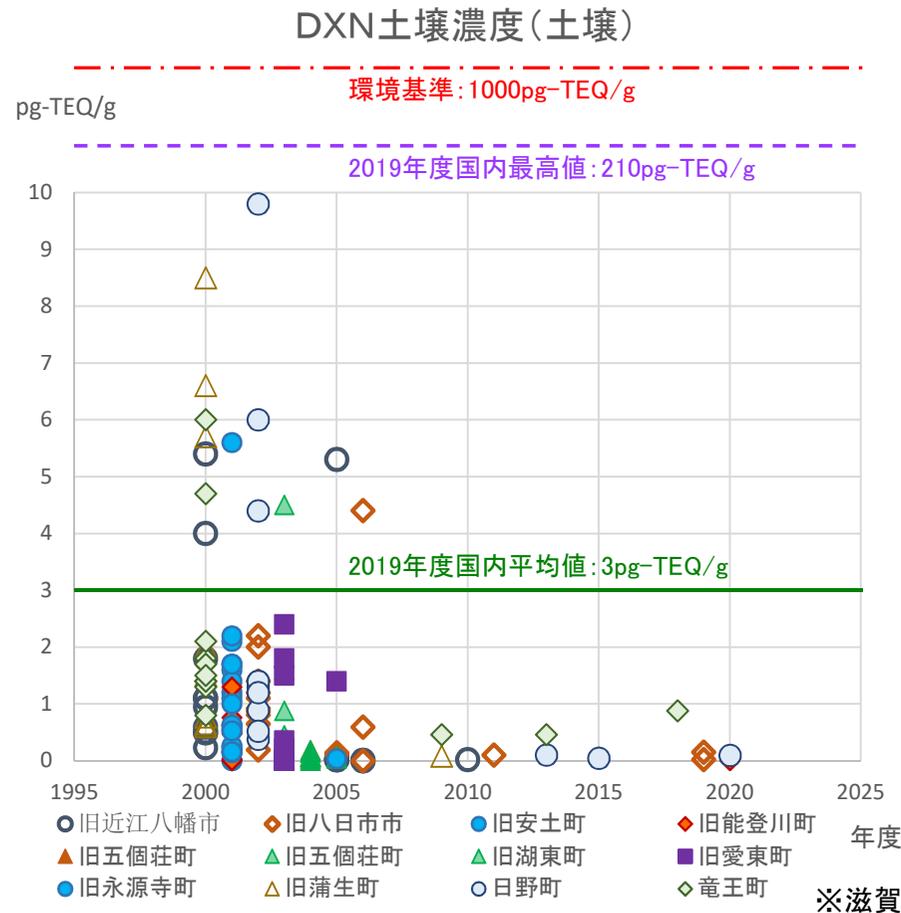
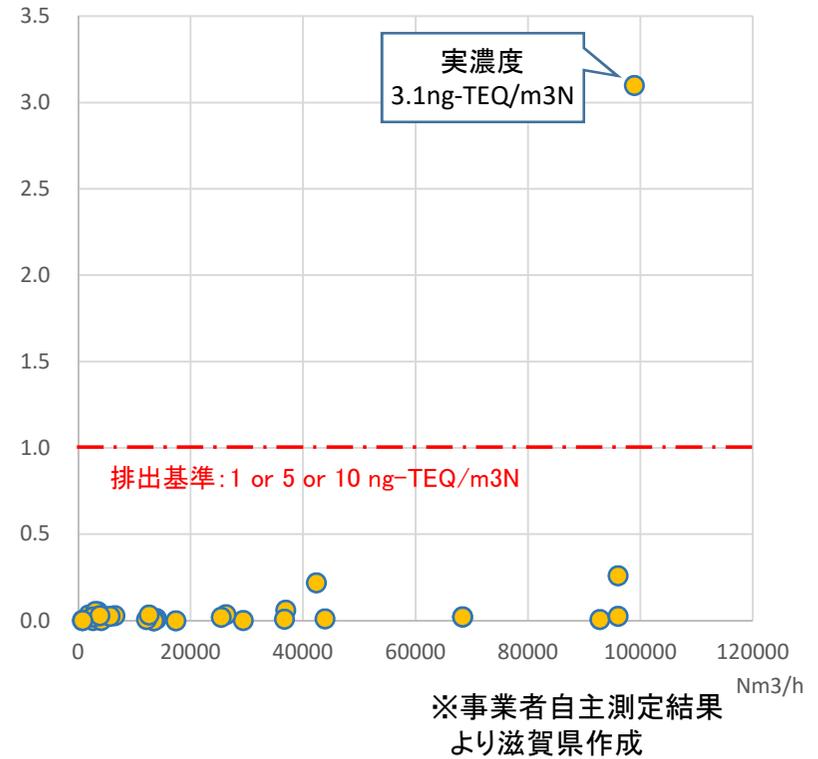


4. ダイオキシン(土壌状況)



令和3年度 対象施設からの排出濃度/規制値



- 土壌からのダイオキシン検出状況は、2000～2006年度まで濃度に多少のばらつきが見られたが、2009年度以降は、1pg-TEQ/g以下で安定している。
- 検出された値は、いずれも環境基準よりもはるかに低い値であり、2019年度における全国のダイオキシン土壌環境調査結果の最高値からも低い値である。
- ダイオキシン類の主要な排出源(焼却炉など)について、令和3年度の排出ガスの自主測定結果は、1施設を除き、排出規制値を十分満足している。